

令和4年度

経営協議会学外委員からの意見を法人運営の改善に活用した主な取組事例

○地域共創の推進

＜学外委員意見＞

- ・奈良先端大の持つ基礎研究の強みを発展させ、さらなるイノベーションの推進や社会実装に向けた取り組みを強化すべきである。【令和2年度第3回経営協議会】
- ・これからは地域のつながりということが大事であり、予算を捻出して、地域との共創をしていただきたい。【令和3年度第4回経営協議会】

＜今年度における主な取組事例＞

- ・奈良県との間で、県民ニーズ、地域課題に係るデータやフィールド等を相互に活用して幅広い地域課題の解決に向けて協働していくこと等を定めた包括連携協定を締結した。今後は、同協定に基づき、地域課題の解決に資する連携事業や共同研究の実施、県民向けのイベント等での相互連携などの取組を行っていく。
- ・地域から国際社会へ循環する「共創の場」形成を目的として地元金融機関である株式会社南都銀行と共に設置した地域共創推進室が主体となり、四條畷市との共同研究プロジェクトである「高齢者見守りアプリの実証実験」への支援等を行った。
- ・令和5年3月31日に奈良県内国公立高等教育・研究機関（奈良教育大学、奈良女子大学、奈良国立博物館、奈良文化財研究所、奈良工業高等専門学校、奈良県立医科大学、奈良県立大学、奈良県立橿原考古学研究所）との包括協定を締結した。
- ・奈良日産自動車株式会社と令和4年9月2日に、緊密な相互連携と協同により、研究開発、新事業の創出、人材交流等の分野で実践的な連携協力を行い、双方の研究及び事業の充実、並びに発展、延いては地域産業の発展に寄与することを目的として、連携協定書を締結した。

○女性教員採用の促進方策

＜学外委員意見＞

- ・女性教員の採用・人材育成について、引き続き積極的に取り組んでいただきたい。【令和元年度第4回経営協議会】
- ・子どもがいる方が本学で研究者になるととてもいいというような、ブランディングおよび環境整備ができないか。【令和3年度第4回経営協議会】

＜今年度における主な取組事例＞

- ・妊娠、出産、育児による絶対的な時間不足を解消し、最先端研究との両立と成果の向上及びワークライフバランスの向上に資することを目的として研究支援員の配置や経

費の助成を実施しているアカデミックアシスタント制度について、申請資格者の対象枠を拡大する内容で検討を行い、令和5年度からはこれまでの対象であった妊娠中、産前産後休暇中、育児休業中等の研究者に加えて、介護・看護中および不妊治療中の研究者も同制度の申請を可能とすることを決定した。

○広報戦略

＜学外委員意見＞

- ・ブランドというのは非常に大事であるので、常に学長が先頭に立って、ブランド・奈良先端のイメージをいろんなところに広げていく必要がある。【令和3年度第6回経営協議会】

＜今年度における主な取組事例＞

- ・広報活動の充実強化の一環として、令和4年度より学長記者懇談会を開始した。令和4年9月1日に開催された初回では、学長から本学の特徴や強み、大学運営の展望などの説明を行った後、質疑応答、意見交換が行われた。また、研究成果や教育活動の中から、時事性・社会性に鑑みた事例を紹介するとともに、産学連携のための交流施設（CDG コモンズ）の見学も行われた。
- ・JR東京駅、JR新大阪駅、大阪メトロ各駅にて交通広告を掲載した。本広告では、学長自ら大学のマスコットキャラクターに扮し、大学のアピールを行った。

